環境パートナーシップちば

だより

— つながれ ひろがれ —

Vol. 7

編　集　環境パートナーシップちば
代　表　横　山　清　美
事務局　千葉市中央区中央港1-11-1
(財)千葉県環境財団 環境学習推進室内
電　話　043-246-2180
FAX　043-246-6969

代表のバトンを手渡されて

新代表　横山　清美

平成9年6月、環境グループのネットワークづくりを目的に誕生した「環境パートナーシップちば」も3年目を迎えました。フォーラムや会報づくりなど無我夢中で企画・運営させていただくうちに、お蔭様で会員数も60団体と個人143名（平成11年4月現在）を数えるまでになりました。

このネットワークが拡大するなか、4月25日の総会で代表のバトンが私に手渡されました。前代表鈴木優子さんには、設立準備から2年半の間多大なご尽力をいただきましたこと、一同感謝し、御礼申し上げます。

私はこの間パートナーシップには、まず一人ひとりのコミュニケーションが大事で、信頼がすべてのベースになるものだと学びました。数多くの事業や会報を通じて、ようやくお互いの顔が見えるようになってきたところではないでしょうか。

平等・対等な立場での情報や知識の提供を通じて、新たな企画・提案を会員の皆様と共に進めていきたいと思います。どんどん関わってください。お待ちしています。

組織の基盤作りを終えて

前代表　鈴木　優子

2年間、組織の基盤作りをしてきました。他県に先駆けた、県域のネットワーク作りもやっと、環境グループの過半数のご加入をいただくところまで参りました。同時に、全体の支援になる事業を実施することによって、さらに、ネットワークを拡げ、環境を良くしていくことが課題でした。まずはできるところから、お互いの存在や活動を知り合うためにダイレクトリィの配布、「環境パートナーシップちばだより」のグループ紹介、共通の問題で、まだ千葉ではネットワークができていなかったダイオキシン、地球温暖化、グリーンコンシューマー、環境アセスメント等の情報交換、エコツァー、地域フォーラム後援等で交流をすすめてきました。3年目、「環境パートナーシップちば」はその役割の合意を築きながら、いろいろな立場の人が関われる大きな目標にむかって、個々のグループや、各自の得意な持ち札を出し合う、胎動を感じています。万人を巻き込むシステムとは、そのようなものではないでしょうか。パートナーシップは一方的な支援ではなく、互いに支え合うものでもあります。

活発な質疑応答

環境の輪を広げる

皆さん、大きな夢を持ちましょう!!

丸山サンクチュアリ　三神　鶴吉

船橋市では、「21世紀の都市計画マスタープランまちづくり」に、市民の声を募集しました。そこで当会では、船橋市西部の法典風致地区に自然観察の里山と昆虫博物館を要望しました。

この地区には、良い状態にある雑木林の里山がつなげて10haもあり、周囲には調整区域に指定された畑が広がっています。また地主は、昔から寺子屋や教会等を建設して、青少年の教育に尽されてきた家柄です。現在でも、学校や地域の人々に土地を提供して、教育環境の整備充実に協力を惜しみません。このような地域の伝統を生かしたまちづくりを実現できるよう船橋市に提案協力し、会の運動を展開していきたいと思っています。

まずは“学び”を「千葉エコネット」の活動

千葉エコネット　野村　幸平

当会は、平成10年度エコマインド養成講座一般実践コースの修了者会員数29名で、平成11年1月26日に発足しました。

情報の交換、個々の活動の相互紹介、レベルアップのための勉強会・観察会・体験会・親睦会・会報発行などの活動を計画しています。

発足以来、谷津干潟観察会、炭焼き体験、ヒルトンホテルや東京ベイホテルのゴミ処理対策見学等の行事を行ってきました。今後、江戸川Eボート体験、三番瀬の観察、ビール工場でのリサイクルの現状見学、行徳野鳥観察、野草自然観察と天ぷらなどの行事を予定しています。

市川生活排水の問題について

千葉エコネット　高地　照代

市川市は「水質汚濁防止法」に基づいて、千葉県から生活排水重点地域に指定され、生活排水対策員が公募で選ばれました。

活動期間は一期を2年とし現在三期になります。平成11年現在10名（6月から15名になる予定）です。活動内容は、個人でできる浄化対策を進めるために、ろ紙の普及、ゴムべらの活用、アクリルたわしの使用の促進を主な目標に活動しています。

川を汚してしまったら、元のきれいな川に戻すには大変な時間とお金がかかります。川を汚さないために各家庭から汚れた水は出さない！を実行していただきたいと思います。

手賀沼周辺「水ものがたり」

市民ネットワーク・かしわ　寺尾　直宏

風光明媚であった手賀沼は、今や連続23年間全国湖沼水質ワースト1です。当会は、河川環境管理財団河川整備基金の助成により、手賀沼流域の“水”の流れを、パンフレットに作成しました。

より快適な水環境を作り上げるためには、使う水がどこから来て、使った水がどこへ行くのかを知って流域全体の水系を守ることが重要です。

この対策には大きな意味で“まちづくり”に深く関わってきます。即ち自分たちが住む身近な水環境と、水文化の質的な向上を図っていく上での環境パートナーシップの自覚が求められています。

環境情報の拠点として機能

ちば環境情報センター　伊原可奈子

「環境活動は、やりたいと思ったときがチャンス！」その時を大切に、無理なく、できる事から始めていってもらえるよう、サポートしています。

また、個々の持つ力を出し合い、つなぎ合わせることにより、更に大きなことができるよう、只今『助っ人図鑑』を作成中。事務所は、実践向けの本や、各地域の環境団体の資料が並び、自由に閲覧できます。またホームページを使って、会員以外にも広く情報提供できるよう取り組んでいます。

http://www2.tky.3web.ne.jp/~ceic/

5分間スピーチ　団体活動報告

仲間から世界につながる環境の輪

習志野市　太田　想三

勤務先で環境に関心のある仲間３人が、「一人ひとりができることから」を合い言葉に、環境の勉強会を続けるうちに、社外のたくさんの協力者が集まってくれました。

その結果、生ごみの堆肥化から自然農法の実践者へ、森林ボランティアから山村村起こしへ、更には熱帯雨林の保護・砂漠の緑化・途上国の援助へと、私たちの意識のはるか上を行く広がりができました。

「林の開発ストップ」の住民運動

丸山の森を守る会　小室　房子

平成８年４月当会を結成し、住環境を守るための住民運動を開始。

７，400名の署名の結果、企業はトラブル回避のため、住民と向き合い話し合った。また、政治家はある程度の数が集まれば、運動を無視できないようだ。行政は署名の多少に関わらず、議会の決定が全てであり、市街化区域の緑地開発を止めるには、条例や法律の改正、相続税のあり方などを模索すべきだ。

環境パートナーシップちばは、県庁や市役所の当該課と住民を素早くつなぐ存在になって欲しい。

行政・企業と肩を並べて活動

千葉市エコリーダ連絡協議会　木野村　秀夫

昨年度は行政イベントへの協力としては、６月の環境月間講演会での事例発表や、10月の小学４～６年生対象の１泊「エコ体験スクール」支援、環境カレンダー作製協力を。

企業関係では前年のISO14001工場、袖ケ浦火力発電所見学に続き、東京ガス、川鉄千葉事業所を見学。

今年度も、千葉市幹部との勉強会を５月に実施。又、環境月間千葉市イベントに、クイズ形式のフリー街頭キャンペーン等を行政と協働。企業もリサイクル工場等見学会を予定。なお、消費センター主催の他NWとの合同参加イベントについても一歩前進で検討中。

ケナフ１粒運動

エコネット市民の会　田中　富士男

「ケナフ熱」が最近になって広がり、栽培を通じて、環境行政の一環として、小・中学校の教育現場で、教材として取り組みが行われています。

けれども、日本でのケナフ紙の需要や栽培量が少ないことから、製紙メーカーに販売できる状況となっていません。理念だけが先行している時もあり、市民参加の貢献努力が大切です。

昨年11月に、「千葉県生涯学習フェスティバル'98」を開催。今年の夏は、地球環境パートナーシップオフィスで、討論会を企画中です。事業者・NGO等により、活発な意見交換を行い、知恵を出し合い、非木材資源の有効利用につなげようではありませんか。

都市の川や緑の保全を考える

江戸川環境ネットワーク　横山清美

現地の人の案内で、首都圏の川や水辺を学びながら歩くエコー・ウォーキング（月１，２回）、自然観察指導員と地域を定点観測する真間山自然観察散歩（月１回）、利根川水系の上下流交流として群馬県倉淵村と四季を通じた山村交流（年２回）、子供と炭焼をしながら里山の自然を考える炭焼き自然体験キャンプ（年１回）、江戸川流域の市民、行政、企業をネットワークする江戸川流域交流会（不定期）、地球環境問題を地域の中で考えるアースデイ（年１回）、山の自然保護を考えながら山に登るエコ登山（年５，６回）、草木を材料にしながら自然と親しみ工芸作品を作っている草木染め（月１回）の活動などを進めています。

平成11年度総会を終えて

広報副部長　山口　由富子

平成11年度の総会は、4月25日（日）千葉市の千葉県教育会館において行われました。当日は予期せぬ事態として、地方選挙の投票日と重なり、午後からの開催となりましたが、多数の参加を得、意見白熱するなかでの内容の深い総会となりました。

まずは、設立以来の2年間を締めくくる鈴木前代表の挨拶と、千葉県環境財団理事長麻生肇氏のご挨拶に始まり、議題は順次審議されて行きましたが、事業報告では「三番瀬問題」が、会計報告では「前年度予算の計上を」などの提言の他に、より良きパートナーシップを構築するための「アンケートの結果報告を」など、多数の意見もありました。

また、主だった変更内容としては、情報紙の発行回数を2回増やし、年6回奇数月の発行としたことを報告。次いで、新役員の承認を得、横山新代表が豊富を述べて、総会はつつがなく終了致しました。

その後、「事例5分間スピーチ」が応募10団体から、それぞれのステージや活動内容について報告があり、盛大な拍手が鳴り響いていました。そして最後に懇親会が、パートナーシップのパートナーシップたる由縁の面目躍如に効を奏したことは、申すまでもありません。

新役員紹介

代表	横山清美
副代表	深尾秀次
	川原啓佑
	永島輝代
会計	細谷忠資
	井上一市
書記	田口廸夫
	永島東洋輝
総務部長	平岡誠一郎
副総務部長	初谷幸一
事業部長	大西優子
副事業部長	有馬富穂
広報部長	縣　和子
副広報部長	山口由富子
監査役	服部　洵
	林　清三

	年月日	事業名	内容
平成10年度事業報告	98／4／26	総会	ワークショップ（PSちばでやりたい事）
	5／20	情報誌発行	VOL. 3
	6／20	エコライフの達人	フォーラムグリーンコンシューマーについて
	8／27	エコツアー	見学研修三島グラウンドワークへ
	9／1	情報誌発行	VOL. 4
	10／3・4	エコメッセちば参加	グリーンエコチェック実施
	10／15	情報誌発行	VOL. 5
	11／22	環境フェスティバル参加	環境PSちばPRと啓発活動およびエコチェック実施
	11／23	〃	
	12／5	地球温暖化対策は進んだか	パネルディスカッション「事例とトークの集い」
	99／1／1	情報誌発行	VOL. 6
	1／23	新年度懇話会	これからのPSちばの在り方について 懇親会
	2／20	環境アセスメントとは	学習会　法案の説明とトーク
平成11年度事業計画	11年 5月	情報誌発行	VOL.7
	6月	フォーラム	アンケートにより開催地域団体を募集
	7月	情報誌発行	VOL.8
	8月下旬	エコツアー実施	環境活動先進地の視察その他
	9月	'99環境シンポジュームちば会議参画	実行委員として協力
	9月	情報誌発行	VOL.9
	10月	エコメッセ	実行委員として協力
	11月	情報誌発行	VOL.10
	12月	フォーラム委員会	ゴミとリサイクル（容器包装リサイクル法関連）
	12年 1月	情報誌発行	VOL.11
	2月	フォーラム	地域へ出前予定
	3月	情報誌発行	VOL.12

〈環境パートナーシップちば〉

入会申込書（該当するところを○で囲んで下さい）

会の趣旨に賛同し（個人、団体、賛助会員として）
会費を添えて入会します

氏名			
住所			
TEL		FAX	
申込み先	TEL 043-246-2180　FAX 043-246-6969		
年会費	個人1,000円　団体2,000円　賛助会員5,000円		
会費納入先	郵便振替口座　00160-9-401872　環境パートナーシップちば		

編集後記

広報部は、これからの活動予定が満載されている情報誌を目指しています。その目標に向かって部長縣、副部長山口、スタッフ柏木・荒井・畠山・平松が一致団結。各方面の方々のご協力のもと、ようやくこの「編集後記」を書く喜びを味わっています。

今年度から年6回の発行となりました。これからも一層アンテナを高く、新しいニュースを取り入れて、いつまでも新鮮な「だより」でありたいと思います。

副代表川原さん、前部長横須賀さん、これからも助言でバックアップをおねがいします。

－広報部－

連絡先：縣　TEL/FAX 047-364-3950

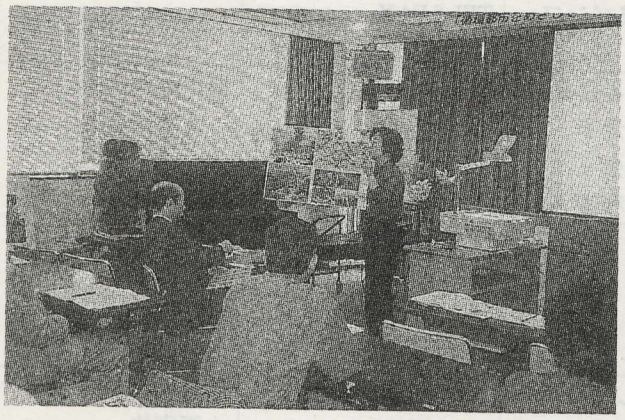
循環社会を作る“志”と人を動かす“パワー”を！
アースディいちかわシンポ開催

副代表　川原　啓佑

春たけなわの4月、アースディいちかわ「水循環・資源循環・自然住宅」シンポジウム（当会後援）が市川公民館で開かれました。

まず村瀬誠氏から、墨田区職員の立場で約20年間水循環の出発点である雨水の活用の先駆者として苦斗を重ねられたお話。国技館・東京ドーム・区庁舎など18の雨水施設を産み出された経緯と理念が披露されました。氏は今や「雨水利用国際会議」で推進役を果されるほどの第一人者となられました。また、先鞭をつけられた都市水循環は、近く東京都水循環条例へ結実します。現場から発した先見性ある「志」が社会を変えて行かれた軌跡は、本当に感服させられるものでした。後半は、奇抜なアイデアでゼロエミッション町づくりを進める早稲田商店会長安井潤一郎氏と住建ビジネスの基本に環境をすえる田久保美重子氏のユニークな実践紹介。特に元気溢れる安井会長の「トクをすること、楽しいことをやれば活動は続く」の言は、運営の核心をつくものでした。市民、自治体、企業みんなで楽しくトクをして環境向上を進めたいものです。

以上今回のシンポはアースディにふさわしく、教えられること多い内容の濃いシンポジウムでした。中心となられた江戸川環境ネットワークほかの皆さん御苦労さまでした。



4／17（土）シンポジウム

4／18（日）
江戸川のクリーンアップと水辺斜面林ウォーキング

みんなでつくる花の輪活動

扇屋ジャスコ㈱
環境・社会貢献活動事務局長
入江　正了

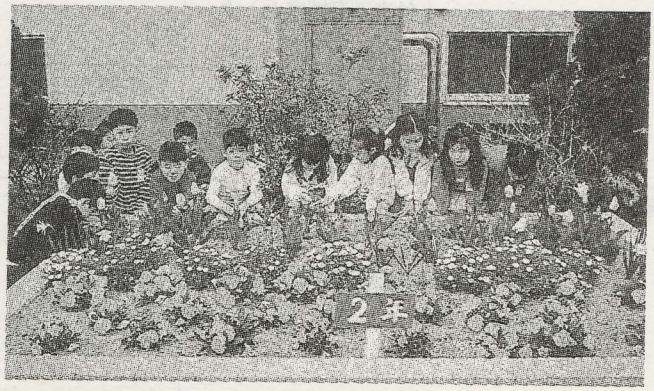
花壇づくりは、美しい景観を見せてくれるだけでなく、子どもたち一人ひとりが、花を育てることを通して「思いやりの心」「人を大きく包み込む花の心」「命の大切さ」を知ってもらうことでもあります。

’93年から県内の小学校に花の苗を贈る活動を続けています。この活動は、お客さまから古本10冊を100円でご提供いただき、それを1冊50円で販売。この収益金で県内の小学校に花の苗を贈っています。これまで342校に99，072株の花の苗を贈ることができました。

毎年12月上旬、県内の小学校に花の苗を届けにいきます。土いじりをいやがる子、植え方のわからない子、水やりの方法がわからない子などがいますが、みんな一緒になって花の苗を植えます。花は自分で動いたり、餌をとることができないことから、水や肥料をあげたり、風や雪にいじめられたら優しく人がいたわってやらないと育たないことを、この花の苗をとおして学びます。

春3月、子どもたちが育てた花の苗が、6年生の卒業式に合わせて美しい花を咲かせます。子どもたちが、花壇を見ているお父さん、お母さんたちに、自分たちが育てた花壇だと誇らしげに説明している姿はうれしいものです。

次世代の子どもたちに「花」をとおして、自然から学びとる「命」の大切さを知ってもらおうと、この活動を続けています。



情報コーナー　イベント案内

イベント名	日時・場所	テーマ	問合せ先（TEL）	その他
自然観察にこにこ会	5／15（土）～ 7／30（金） 土・日を除く 利根川佐原出張所工区	利根川除草工事中の休憩時間に、植物や動物の正しい名前と地球での名前の違い等について	日法建設自然観察にこにこ会 0478－52－2833	作業従事者のみ 雨天中止
環境月間千葉市イベント	6／4（金） 10:00～15:00 千葉市中央公園テント村	市民にできる事、実施している事、実施したいと考えている事をクイズ形式で記入。他にケナフ等。環境調整課作成パンフ・再生品の景品を配布。	千葉市エコリーダー連絡協議会 木野村　秀夫 TEL&FAX 043－262－8006	通行人を対象とするフリー街頭キャンペーン
	6／5（土） 千葉市文化センター	講演「今、私達に出来ること」 飯星　景子 環境保全活動事例発表会 村上　利子	環境調整課 043－245－5184	要申込み
	6月中 （土・日を除く） 9:00～17:00 千葉市役所周辺	低公害車試乗会	大気保全課 043－245－5190	
真間山自然かんさつ散歩	6／5（土） 7／3（土） 1:30集合 市川市真間山手児奈堂	毎回手児奈堂に集合し約2時間の散歩。行き先は顔ぶれで決ります。	高野史郎 TEL&FAX 047－337－1483 （夜9時すぎに）	参加費200円 小雨実施 （京成線国府台駅）
いちかわ環境フェア	6／6（日） 10:00～16:00 メディアパーク市川	○講演「市川のツバメ」 越川重治 ○環境市民会議によるシンポジウム ○でんき自動車体験	市川市環境部環境政策課 047－334－1111 （内）3023	交通 JR本八幡駅下総中山駅から徒歩15分 京成鬼越駅から徒歩13分
美しいふるさとづくり運動推進県民大会	6／9（水） 13:00～16:30 白井町文化会館大ホール	講演「美しい日本のくらし」 浜　美枝 シンポジウム 「地球に優しい暮らし方～エコライフを考えよう」 伊藤和明（NHK解説委員）他	千葉県環境調整課 043－223－4139	往復ハガキで申込・先着順
知ろう、見よう私たちの谷津干潟	6／12（土） 9:30～12:00 谷津干潟観察センター	自然観察会、市民クリーン作戦	谷津干潟観察センター 047－454－8416	◎JR津田沼駅南口より干潟行きバス ◎JR京葉線南船橋より徒歩20分
	6／13（日） 13:30～16:00 谷津干潟観察センター	自然観察会 シンポジウム 「知ろう、語ろう東京湾の干潟」	同　上	同　上
春の集い	6／13（日） 10:30～15:30 市原市民の森＆周辺	ネイチャーゲーム ケナフの植付け	市原ネイチャークラブ 鈴木恒雄 TEL&FAX 0436－96－0236	定員35名先着順 参加費500円 雨天の時6月20日

イベント名	日時・場所	テーマ	問合せ先（TEL）	その他
草木染めを楽しむ会	6／13（日） 7／18（日） 10:00～16:00 市川市女性センター 6Ｆ調理工房	自分の染めたいものを染める自由染の講座、身近な植物が対象。	平松三代子 TEL&FAX 047－375－2987	参加費1，000円 材料費　実費 要申し込み （JR市川駅5分）
三番瀬見学会	6／13（日） 9:00集合 ＪＲ船橋駅中央の大きな改札口	三番瀬の海の生き物、鳥などを中心に、干潟の大切さを考える。案内は、杉村治、池亀勝義、荒木勉。	問合せ　平松南 TEL&FAX 047－376－2987 申込み　猪ノ坂恒雄 TEL&FAX 047－338－0365	参加費1000円 定員30名 小雨実施
第7回全国水環境シンポジウム	6／19（土） 13:00～ 6／20（日） 9:30～ 国立オリンピック記念青少年センター	「21世紀水環境の扉～町から地域へ～」 川並み保全・水系の生物保全	地域交流センター気付全国水環境交流会 03－3453－6548	
浦安市環境キャンペーン	6／19日（土）～20日（日） 10:00～16:00 ショッパーズプラザ新浦安	講演「三番瀬の自然」（土） 中村　征夫 トークショー（日） 清水アキラ	浦安市環境課 047－351－1111	（JR新浦安駅前）
三番瀬学習会	6／20（日） 13:15～16:30 千葉県教育会館	三番瀬についての理解を深め、環境保全と私たちの暮らしについて考える	環境パートナーシップちば 043－246－2180 FAX 043－246－6969	定員50名 要申込（はがき又はFAX）
環境エコスクール	6／20（日） 13:30～15:30 教育センター研修室 メディアパーク市川	「環境をめぐって　パートナーシップをさぐる」 平松　南 （環境学習アドバイザー）	市川市環境部環境政策課 047－334－1111 （内）3023	JR本八幡駅下総中山駅から徒歩15分 京成鬼越駅から徒歩13分
市原市エコフェア	6／26（土） 11:00～15:00 市原市市民会館		市原ネイチャークラブ 鈴木恒雄 TEL&FAX 0436－96－0236	自由参加 お土産多数
真間川ウォーキング（真間川マップ完成記念）	6／27（日） 10:00集合 京成線国府台駅改札 （15:00頃解散）	市川市真間川を江戸川から東京湾まで全線歩く（8.6キロ）案内は、平松南、高野史郎、吉岡薫	猪ノ坂 TEL&FAX 047－338－0365	参加費500円 定員50人 小雨実施 要申し込み
国際干潟環境シンポジウム	6／27（日） 13:00～17:00 千葉大学西千葉キャンパス	日本で初めての三番瀬を主題とした国際シンポジウム。 パネリスト スコット・マクリマリー ジェフ・ホウ 磯部雅彦 長谷川孝一　他	三番瀬国際シンポジウム実行委員会 TEL&FAX 043－241－9009	資料代1000円 通訳付き（日英）
手賀沼ふれ愛フェスタ（皆でとり戻そう美しい手賀沼）	7／10（土） ◎手賀沼流域フォーラム 13:00～16:30 柏市民文化会館	パネルディスカッションとトークコンサート（佐藤陽子） 無料入場券要（定員1200人） 6／18までに往復ハガキで申し込み、抽選	主催：環境庁等関係省庁、千葉県、流域8市町。美しい手賀沼を愛する市民の連合会、山階鳥類研究	照会先：松戸、柏、流山、我孫子、鎌ヶ谷、印西、沼南、白井各市町環境担当課

イベント名	日時・場所	テーマ	問合せ先（TEL）	その他
	◎水辺のイベント 11:00～15:30 手賀沼親水広場	野外ステージ、船上見学等（自由参加）	所	
神田川水紀行「川にはかって神がおわした」	7／17（土） 9:00集合 JR飯田橋駅西口	神田川を飯田橋から高田馬場まで歩き、水神社、水稲荷、神田上水跡をたどる。 （案内は、平松南・高野史郎）	平松　南 TEL&FAX 047－375－2987	小雨実施
国際女性技術者、科学者会議	7／25（日） 13:00～17:00 幕張メッセ国際会議場	○「環境型社会づくり」をめざした日本の取り組み。 ○循環型社会をめざした、国際的な連携と女性の役割 ○コーディネーター 早川与志子	千葉県水質保全研究所　小倉　久子 043－243－2935 FAX 043－243－2960	参加費2，000円 同時通訳付 託児所付 （要申込）
非木材紙消費戦略	7／24（土） 13:00～16:30 地球環境パートナーシップオフィス	21世紀の非木材紙利用戦略をどのように活性化させるか	平塚ケナフ普及協会 0463－35－1618 FAX 0463－35－3155	参加費1000円 ＪＲ澁谷駅から徒歩13分
こども科学者会議	7／24（土） 幕張メッセ国際会議場	「こどもエコクラブ」・環境学習推進拠点校などのこどもたちが環境に関する研究結果を世界の科学者に発表	千葉県水質保全研究所　小倉　久子 043－243－2935 FAX 043－243－2960	参加費無料 定員100名 要申し込み 同時通訳付
	7／25（日） 幕張メッセ国際会議場	世界の第一線研究者が、日本のこどもたちに対して、科学の楽しさ、すばらしさを講演。	同　上	参加費無料 定員100名 要申し込み 同時通訳付
「富士山の森」再生活動	7／24（土）～25（日） 富士山自然休養林（裏富士）	「富士山周辺の風倒被害の森の再生活動の一つとしてミズナラ、ブナ、ケヤキ等の植林	地球緑化センター 宮本　有里 03－3241－6450 FAX 03－3241－7629	他に5／8（土）～9（日）、10／2（土）～3（日）の年3回実施。 毎回150人参加

つながれ Network ひろがれ